



診断ひろこ



一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 発行者 柴谷 真治

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4 神戸市産業振興センター8階
TEL (078) 362-6000 FAX (078) 361-8722 URL: <https://www.shindan-hg.com>

新年のごあいさつ

認識を広げ、範囲を絞った具体的な考察を

兵庫県中小企業診断士協会
会長 柴谷 真治



元号が令和になり、初めての新年となりました。

皆様におかれましても、健やかに新しい年をお迎えになられたことと存じます。

複雑化する外部環境の変化にアンテナを張る

今年、令和2年はオリンピック開催などもあり、活気ある1年となることが期待されるところです。他方、複雑化する国際情勢や自然災害にもつながりかねない気象状況の変化など、懸念される要素も無視できません。企業経営に関することとしては、消費増税をはじめとする税制改正や働き方改革への対応など、さまざまな変化に対するアンテナを張っておく必要性が、従来以上に高まっていると感じています。これらの外部環境の対応に共通して認識すべきこととして、「複雑化している」ということと、「過去の推移だけでは推し量れない」ということを挙げることはできるのではないかと考えています。

国際情勢であれば、米中関係に代表される多国間の貿易環境の調整議論、英国のEU離脱に伴う条件交渉などがあり、国内の企業活動にも直接・間接的に影響を受ける度合いが増しています。働き方改革であれば、勤務時間を含めた労働環境の見直しを実現させるための生産性の向上という難しいテーマに取り組む必要があります。気象状況の変化が典型的な例として語られますが、いずれも過去の経験値だけで予想できる範囲がますます少なくなっています。

原点に戻り内部環境を見つめる

このような状況下での中小企業経営においては、「改めて原点に戻る」ということにヒントがあるように思います。そもそも自社の存在価値は何か、自社の経営目的は何か、そのために必要な経営資源は何か、強みや弱みの把握を含めて、「何がどうあらねばならないか」、「優先すべきは自社の事業活動や外部との協力関係のどの部分か」などを今の時代に合わせて今一度見直し、先の経営につなげることが重要ではないでしょうか？

これらは以前から取り組まれてきたことではありますが、私はこのような状況だからこそ、今の外部環境の変化を踏まえた上で、内部をしっかりと見つめることにヒントがあると考えています。先に述べましたとおり、「複雑化している」、「過去の推移だけでは推し量れない」ことだからこそ、自社の事業活動への影響という範囲に絞り込んだ具体的な考察から、得るべきものを見出すことができるのではないのでしょうか。シンプルなことは細分化し掘り下げることで認識が高まりますが、複雑で過去の連続性が薄いことは、認識を広げることに加え、範囲を絞った具体的な考察も有効だと思っています。

会員の皆様も、それぞれの活動場面において複雑な変化の時代に対応され、より一層ご活躍いただきたいと思います。また、これまで同様、協会運営にご理解とご協力を賜り、是非本年も協会活動に積極的にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

節目の年を迎えて

このコーナーでは、今年、更新10年・20年と節目に当たる年を迎えられた会員の方に、これからの抱負やこれまでの振り返りを投稿していただきました。



笠島基嗣（平成12年登録）

約20年前の40歳過ぎに中小診断士資格を取得したことで、私の職業人生は大きく転換しました。それまで長く営業業務に従事していましたが、絶対にそのまま終わりたくなかった。資格取得後は企画管理業務に異動となり、学んだことをフル活用しながら紆余曲折、中小企業経営に携わってきました。再来年の現職任期満了に向けて、今年は最終年度をシッカリ務めていきます。一方で、その後もこれまでの学習と経験を生かした職業人生を模索していきます。



福島 猛（平成12年登録）

登録して20年が経過しました。プロコン育成塾はじめ協会の皆様には大変お世話になっております。多くの経営者とお会いする中で「どのようにご説明すれば経営者に納得してもらい、行動してもらえるのか」の試行錯誤の毎日です。昨年から「防災・減災」に向けた「事業継続力強化計画」の支援をしています。企業を何としても守りたい、その思いで今年も努力させていただきます。引き続きよろしくお願いします。



八木敏文（平成12年登録）

診断士登録から早いもので20年となります。勤め先の銀行が破綻し、翌日が1次試験だったので背水の陣で臨んだことが鮮明に思い出されます。その後、何社かの会社を経て定年後にやっと独立し、昨年12月で3年となりました。現在の主な仕事は、前職の生命保険会社から委託を受けた保険代理店の態勢点検・指導業務と、臨時でいただく商工会の補助金関連業務、協会を通じていただく企業診断業務等です。4年目の今年は、また新しい事にも挑戦して、まだまだ世の中のお役に立てるよう頑張りたいと思います。



湯浅伸一（平成12年登録）

あけましておめでとうございます。今年で20年、早いものです。登録の翌年度に当時の支部に入会し、会員研修委員会に入ったのが、協会での最初の活動でした。「若手やなあ」「どこが若いんですか!もうじき40歳ですよ」という会話を何度交わしたことが。それから様々な方のお世話になり、なんとか診断士の看板を降ろすことなくここまで来ることができました。さらに深みのあるコンサルタントを目指してもう一踏ん張りしたいと思います。

<http://marvelous-consulting.net/>



稲谷誠人（平成22年登録）

今年で登録10年目を迎えますが、独立開業はまだ1年目の駆け出しです。銀行で27年間勤務した経験を活かし、現在は銀行取引のアドバイザーとして、資金繰りの改善指導や事業再生などを行っています。また、コンサル会社での5年間の勤務経験を活かし、後継者向け個別指導も行っています。毎日、お客様の役に立てるにはどうしたらよいのかと思いながら業務にあたっています。今後とも皆さまのご指導のほどよろしくお願いいたします。



志水功行（平成22年登録）

あけましておめでとうございます。今年で診断士に登録して、10年を迎えます。この10年を振り返ってみて、ご依頼いただける仕事に邁進してきた10年であったと思います。多くの方からのご支援を受けて成り立ってきたことを再認識し、感謝しております。今年度から自分の強みを活かした実業を始めていこうと考えております。中小企業の海外共同展示会出展事業や商社事業などを新しく始めていく準備をしております。より中小企業のお役に立つ診断士として活動していけるように努力いたします。よろしくお願いいたします。



内藤 敏（平成22年登録）

登録をして10年を迎えます。振り返ってみると、資格を取得した2年後に、右も左も分からない状態で独立をしました。当時は、先輩診断士の背中を見ながら、とにかく走り続ける日々でした。幸いにも、IT活用や業務改善の分野で多くの企業とのご縁にも恵まれました。これもひとえに協会の皆様のご指導の賜物であり、感謝しています。次の10年に向けては、目指したい姿を再定義し、自分自身が楽しめる仕事を増やしたいと考えています。



中村佳織（平成22年登録）

診断士資格を取得してから早や10年、独立してから8年が経ちました。独立前はコンサル会社で勤務した経験もなく、文字通り手探りながらのスタートでしたが、診断士の先輩方の温かいご支援、ご指導のおかげでここまでやってこれることができました。現在は、販売・プロモーションなどの「売上アップ」をメインテーマとして。セミナーや研修を中心に活動しています。10年という節目を期に、気持ちも新たに頑張っ参りたいと思います。



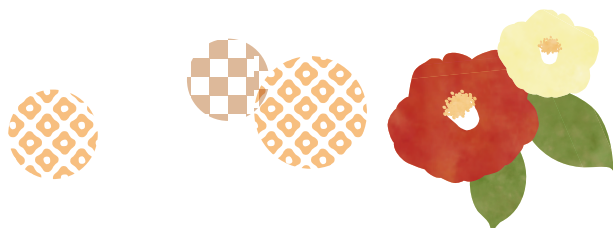
松井裕志（平成22年登録）

診断士10年目の節目を迎えるにあたって、東京から地元神戸に移動して参りました。株式会社夢育（<http://www.yumeiku.co.jp/>）を創業して6年、企業の相談役として、経営ビジョンや戦略作り、特に人材育成の面において、全力で関わる機会をいただきました。そして、クライアント企業様と共に私自身も大きく成長することができたことに、心から感謝申し上げます。本年度からは、兵庫県の企業様に対しても、貢献機会を創造できるよう精進して参ります。



芳田京美（平成22年登録）

10年間で確実に増えたものがあります。それは本です。本棚には収まりきらずそこら中に積みあがっています。そろそろスペース的に限界なので、読んでいない本を処分し、読んだ本を残すことにしました。もう一度読み直すために。同じ本を読むと以前とは違ったことに気づいたり、理解できたり、新たな疑問を感じたりと自分自身の変化を実感します。10年を機にこれまで読んできた本たちを読み直しより深くつながって私の強力なサポーターにしようと思っています。そして中小企業の収益性と創造性に役立つことができるようにこれからの10年も変化し続けていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



地域経済の自立的循環に資する 地域商業再生支援のあり方(後編)

平成30年度の調査研究事業は「地域経済の自立的循環に資する地域商業再生支援のあり方」でした。前号(No.118)に続き、今号ではその後半にあたる、各地の事例を中心にご紹介します。

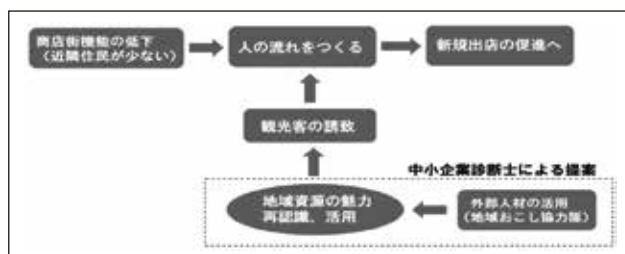
(平成30年度調査研究事業 メンバー・木之下尚令)

4. 事例研究

冒頭(前号)で述べた仮説をさらに深く検証するために県内商業施設等の協力のもと実際に現場支援に入り、実践的に調査研究を行った。

(1) ウエストコーストぐんげ商店街協同組合 (淡路市)

淡路市南西部に位置する組合員13者で構成される商店街であり、地域の過疎化、少子高齢化による人口減少の影響により客数が減少するとともに、廃業による店舗数も減少し、もはや地域住民の日常の買物の場としての機能を失っている。ここでは、商店街再生の方向性として観光客を誘致することでまず人の流れをつくり、既存店舗の活性化や新規出店の促進を図るというシナリオを描き、地域資源の魅力を再認識しその有効活用方法を探るために外部人材の活用を提案した。その結果、地域おこし協力隊の協力を得ることとなり、外部の視点、第三者の視点から地域資源の魅力を再発掘し、観光客誘致のための新しいプロジェクトを立ち上げるに至った。



中小企業診断士として第三者の視点から提案

(2) フェスタ立花名店会(尼崎市)

フェスタ立花は、JR立花駅南側の再開発ビルにある商業集積であり、大手チェーンストア等とともに32の会員店舗が入居している。周辺人口

は十分なボリュームがあり、駅の乗降客の通行路ともなっていることから人通りも多い。一方で、競合の激化、ショッピングセンターの魅力の低下等により客数が減少し、廃業や移転により空き区画が増加している。名店会主催でイベントを実施し、集客を図っているが、効果の検証も行われることなく、毎回漫然と実施されている。その結果、会員の参画意識は低くなり、事業を推進させる人材もいない。ここでは、名店会の組織力と個店の意識向上を図るために会員の声を吸い上げ、名店会活動に反映するしくみと吸い上げた声をどのように活用したかを会員にフィードバックする仕組みを作ることを提案した。



フェスタ立花名店会で取り組んだ空き店舗問題

(3) 津名商業協同組合(淡路市)

イオンを核店舗とする淡路ショッピングセンターにある専門店街アル・クリオを構成している。組合員店舗は13店舗であるが、ご多分に漏れず客数の減少、空き区画の増加に悩まされている。課題は①空き区画対策 ②組合の収益性の回復 ③組合の運営体制の見直し ④個店の収益性の向上 の大きく4点であり、外部との連携、

現状分析データ等の情報提供、個店に対する実践的支援の3側面から支援を実施した。個店に対する実践的支援では、イベント時に中小企業診断士自らが店頭に立ち、どのようにすれば集客できるのか、売上を向上させることができるのかを、実際にやって見せて体感していただいた。さらに、その様子を見た他の店主からもイベントにぜひ出店してみたいという声が上がったことも大きな成果であった。



中小企業診断士自らが参画したイベント

(4) 板宿連合市場西部(神戸市)

当市場の周辺は、大規模な商店街に加え大手スーパーや大型商業施設が多く、競争が激しい。また、組合員は高齢化が進み、建物も老朽化により再開発が検討されていることから空き店舗が増加し衰退の一途を辿っている。市場内に必要な店舗がないため人通りも少なく、イベントによる集客も思うようにできない状況にあった。ここでは、組合の組織強化と商圈人口の維持を課題と捉え、将来の商圈人口推移についての説明と個店支援を実施した。その結果、市場の将来に危



店主らが開催した「夜市」の賑わい

機感を持った店主らにより、事業計画の策定、行政との連携、夜市の開催、子育てサロンの開設等自発的な活動が始まり、組織の結束も高まった。

5. 考察・提言

「リーダーシップ」と「店主の企業家精神」がある商店街は活性化するという調査結果がある。つまり、リーダーを育成し、店主の企業家精神を育むことでイノベーションを起こし続けることが活性化への道であるということである。今回の調査・研究事業において、現場では人材と情報が想像以上に不足していることが確認され、このことは、リーダーシップや企業家精神を育むうえでは大きな障害である。今回の事例研究でもそれぞれにおいて改善の兆しを見ることができたのは、外部人材の活用と適正な情報の提供が大きな要因といえる。

今般の調査研究を通じて地域商業支援のあり方について以下、提言する。

(1) ゼロベース思考での真因探求

思い込みや先入観にとらわれず、自らの手による現状把握で得られる問題や課題の抽出は、支援者にとっては必須のプロセスである。

(2) 地域商業と人、情報を結ぶコーディネーター機能

支援者は、自ら知恵を出し、汗を流すことも必要であるが、地域商業と人・情報をつなぎ、取り組みに新しい風を入れるコーディネーターとしての役割も重要である。

(3) 個店支援へのシフト

空き店舗にのみ目を奪われず、残された個店の可能性に焦点を合わせ、その魅力の向上と能動的な活動の支援へとシフトすることが商業支援の目指すべき方向である。

(4) 地域商業の自立を目的とした危機感と気づきの醸成

活動が停滞している地域商業を自立に向けて動き出させるためには危機感の醸成が重要である。

ただいま修行中

《第4回》学生と中小企業をつなぐ支援者に

岡本 友海 さん

今回ご紹介する方は、20代の若さで中小企業診断士の資格を取得、1年半後には独立を果たされたという行動派の岡本友海さんです。すでに学生時代に起業の経験をされ、これからは起業家の支援や中小企業と学生をつなぐ役割を果たしたいと夢を語っていただきました。



—— 独立前はどのような仕事をされていましたか

大学を卒業後、大阪中小企業投資育成株式会社に就職しました。大学では化学を専攻していましたので、普通はメーカーとか研究機関に就職するのですが、私は起業に興味があり、この会社に決めました。

仕事で多くの中小企業を見ることになりましたが、経営に関する専門知識はきちんと勉強したことがありませんでした。また、職場の役員から中小企業診断士の資格について教えていただき興味がわき、自分も資格取得にチャレンジしてみました。2017年10月には2次試験を受け、晴れて合格、翌2018年4月に中小企業診断士として登録が叶いました。

—— 起業に興味があったというのはいつごろからですか

学生時代には既に興味があり、実際に起業の体験もしています。学生のスキルを活かし、家庭教師や「便利屋」といった仕事を必要とする方に提供する、マッチングのような事業でした。自分自身も実際に現場で仕事もし、起業の面白さを経験しました。実はこの事業ですが、京都府主催の「女性起業家賞」を受賞することができました。そんなこともあって、投資育成の仕事を選んだというわけです。

—— 今後の目標はどのようなものですか

前職では、数多くの魅力ある中小企業の存在を知ることができました。一方で、これから就職しようとする学生たちは、ほとんどその魅力を知る機会がないと感じました。自分の仕事を決める際に、企業選びの判断材料がほとんどなく、ましてや中小企業は選択肢に含まれることもない、というのが実態だと思います。学生

たちが、きちんと中小企業の仕事やその魅力を知って、就職先の選択肢として検討できるような支援をしていきたいと考えています。

—— ご自身の課題はありますか

実際に中小企業診断士として仕事をしてみて感じたのは、客観的な視点が足りないということでした。経営者の方の話をつい鵜呑みにしてしまったり、経営者の方が言う問題点や課題をそのまま受け止めてしまったりしていたようです。一步引いて、経営者とは違う、客観的で冷静な判断ができてこそ、的確な助言や支援ができると思っています。

ちょうどいま、「プロコン育成塾」で指導をうけているところですが、問題の本質に迫れない、事実を確認できてない、といったことから助言・提案が甘い指摘されたこともあります。

—— 自ら事業を起こして企業家になるという考えはありませんか

それはあるかもしれませんが、5年後・10年後もコンサルタントとして、中小企業の支援やその魅力を伝えながら学生たちとのマッチングの支援はしていると思います。自身の起業経験を支援者としての仕事にも活かして、経営者に寄り添った支援ができるといいなと感じています。

【プロフィール】

1989年12月生。京都大学工学部卒。在学中に、大学生と地域の住民を結ぶ『京塾』『京本舗』事業を開始し、京都女性起業家賞を受賞。学卒後、大阪中小企業投資育成(株)入社。事業承継をはじめ経営支援や研修・セミナーの企画運営に携わるほか、中小企業向け新卒採用サイト『投資育成キャリアナビ』の立ち上げを担当。2018年中小企業診断士登録、2019年に独立開業。

「午後は〇〇(マルマル)中小企業診断士の日」を開催



2019年11月4日(祝・月)、「中小企業診断士の日」記念イベントを開催しました。

今年は昨年を上回る55名からの参加申し込みがあり、申込者の8割は当協会の非会員で、中小企業診断士を目指している方、近年中小企業診断士資格を取得した方、中小企業診断士の活動について興味がある方でした。

今年は、基調講演・パネルディスカッション・グループワークの三部構成となっており、いずれも中小企業

診断士によって行われた。各パートでは、中小企業診断士としてのやりがい、公的支援機関や経営者が求める中小企業診断士像、そして、自分自身への振り返りという流れで、中小企業診断士の姿をリアルに感じられるものとなりました。

参加者からは、「時間が足りなかった」「もっと話を聞きたかった」や、「来月入会します。よろしくお願いします」とうれいしい声も多数寄せられました。



委員会報告 10月～12月

●総務委員会

委員会開催日	主な議題
10月1日(火)	理論政策更新研修の振り返り、経営診断実務従事、新年会の企画、診断士の日、来期総務委員会体制
11月5日(火)	新年会の企画、診断士の日の報告、来期理論政策更新研修、経営診断実務従事、ビジネスコンビニ(協会コピー機利用)
12月3日(火)	新年会の企画、来期理論政策更新研修、経営診断実務従事、来期社員総会について

●受託開発委員会

委員会開催日	主な議題
10月9日(水)	年度末受託実績予測、来期以降の体制について
12月11日(水)	年度末受託実績予測
今年度も会員皆様のご協力により、年度末受託予想として5800万円強の受託を予想しています。また、受託開発委員会では、マンネリ化を防止するとともに人員の新陳代謝を図るため、理事をはじめ人員の刷新に取り組んでまいります。今後ともより一層のご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。	

●会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
10月28日(月)	これまでのスキルアップ・セミナーの開催状況の確認、今後のスキルアップ・セミナーの打ち合わせ、中小企業診断士の日および企業内診断士祭の企画の検討、調査研究事業の進捗状況確認 ほか
11月25日(月)	これまでのスキルアップ・セミナーの開催状況の確認、企業内診断士祭の企画の検討、調査研究事業の進捗状況確認 ほか
【事業報告】 ・11月4日の中小企業診断士の日、記念イベント「午後は〇〇(マルマル)中小企業診断士の日」を開催し、44名の参加で盛況でした。スキルアップ・セミナーも10月、11月に各1回開催しました。	

●広報委員会

委員会開催日	主な議題
10月15日(火)	診断ひょうごNo.119コンテンツ検討、メッセの報告、「企業診断ニュース」別冊 Vol.10の原稿依頼等について
11月27日(水)	診断ひょうごNo.119の校閲
神戸市の須磨学園高校で、稲垣委員が授業を行いました。11月4日の「診断士の日」のイベント告知記事を、事前に神戸新聞に掲載できました。	

ニュース

NEWS

■兵庫の地場産業(播州織)を見学

スキルアップセミナーでは、恒例となった見学会を本年度も実施しました。「支援者が知っておきたい、ひょうご五国と地場産業 実地編」と題し、多可

郡多可町の小円織物有限会社様を訪問しました。播州織の製造現場や同社・小林取締役から業界の現状などをお話いただきました。



最新の複合機が稼働開始

より便利で多機能な設備が利用いただけます。

昨年より、事務局の複合機が、最新型のものにリプレイスされました。モノクロ・カラーコピーはもちろん、

高精細スキャナとしての利用やUSBメモリで持ち込んだ原稿をそのまま印刷することもできます。会員の皆さまにも、これまで通りご利用(有料)になれます。どうぞお気軽に事務局までお越しください。

今後の予定



協会行事

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月25日(土) 13:30~17:00	神戸市 産業振興センター 802・803号室	企業内診断士祭り「わっしょい」 テーマ: 「翔び立て企業内診断士」	会員 診断士

セミナー

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
2月18日(火) 18:00~19:30	神戸市産業振興 センター801号室	日本銀行神戸支店長講演 「最近の金融・経済情勢について」	日本銀行神戸支店長 武元和彦氏
※連絡先:代表 伊藤 康雄 ito@clrstm.co.jp			

研究会スケジュール

問い合わせ先: 078(362)6000

● 診断技術向上研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月9日(木)	神戸市産業振興 センター906号室	承継問題について(仮) ~規模20人未満企業の経営課題~	サワダ精密(株) 会長澤田脩一氏
2月13日(木)	神戸市産業振興 センター906号室	事業継続について	研究会会員
3月12日(木)	神戸市産業振興 センター906号室	次期テーマについて	研究会会員
※開催日:原則第2木曜日 時間:18:30~20:30			
※連絡先:代表 楠田 貴康(くすだ たかやす) tkusuda2002@gmail.com			

● 地域産業活性化研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月8日(水)	神戸市産業振興 センター804号室	RESASを活用した 観光まちづくり調査:宍粟市	研究会全員
2月5日(水)	神戸市産業振興 センター804号室	RESASを活用した 観光まちづくり調査:宍粟市	研究会全員
※開催日:原則第1水曜日 時間:18:30~20:30			
※連絡先:代表 大場 一正 kohba@alles.or.jp ※今年度の募集は締め切りました。			

● HOO経営研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月21日(火)	神戸市勤労会館 404号室	中小企業の事業承継、M&A について	竹上 勲氏 加藤慎祐氏
3月17日(火)	神戸市勤労会館 404号室	中小企業の事業承継、M&A について	末政太士氏 高橋秀仁氏
代表 福島 繁 開催日は原則、奇数月第3火曜日 時間:18:30~20:30			
※連絡先:加藤慎祐 MLD11291@nifty.com、稲垣賢一 inagakik@crllion.co.jp			

● プロコンスキル研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月13日(月・祝)	神戸市産業振興 センター905号室	支援事例等による実践 スキルの研鑽	稲谷誠人氏 富松 誠氏
3月9日(月)	神戸市産業振興 センター905号室	支援事例等による実践 スキルの研鑽	中村佳織氏 西口延良氏
開催日は原則、奇数月の第2木曜日 時間:18:30~20:30			
※連絡先:板垣 大介 d.itagaki@logi-ya.jp			
(参加はプロコン育成塾修了者と講師に限ります)			

● 青年部会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月6日(月)	神戸市勤労会館	①流通業のあれこれ ~EX:文具業界~ ②自社の取り巻く変化と、今後について	①岡村恵望子氏 ②衣笠晴人氏
2月3日(月)	神戸市勤労会館	①(内容調整中) ②(内容調整中)	①ゲスト講師 ②岸本圭祐氏
3月2日(月)	神戸市勤労会館 他	①経営デザインシート ②OB交流会(予定)	①大西真由美氏 ②参加者全員
※開催日:原則第1月曜日 時間:19:00~21:00 ※参加資格:49歳以下の会員			
※連絡先:東松 英司 e.toumatsu.7m@gmail.com			

● ものづくり&SCM研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
2月1日(土)	県民会館	最近の3Dプリンタビジネスから 見た製造業のマーケティング	土屋達郎会員
3月7日(土)	県民会館	ものづくり、SCMに関連する事例	指尾成俊会員
※開催日は原則、第1土曜日 時間:14:30~17:00(1、5、8、12月除く)			
企業内・独立問わず、幅広い情報交換を目指し、現場見学も取り入れています。			
※連絡先:三村 光昭 QZE02753@nifty.com			

● HRM研究会(Human Resource Management 人的資源管理)

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
2月4日(火)	兵庫県民会館	企業内診断士グループに 対する調査票作成検討	瓶内栄作氏
※2020年1月3月の開催はありません			
企業内診断士について、各方面からの協力を得ながら研究活動を実施しています			
※開催時間:原則第1火曜日 会議室使用:19:00~21:00			
ネット会議:20:00~21:00			
※連絡先:瓶内栄作 e-kameuchi@plus-logista.com			

● Shobai Lab.(商業研究会)

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月16日(木)	(株)けいえいまち事務所	商業支援事例発表	研究会メンバーを予定
2月20日(木)	(株)けいえいまち事務所	商業支援事例発表	研究会メンバーを予定
3月19日(木)	(株)けいえいまち事務所	商業支援事例発表	研究会メンバーを予定
※会場所在地:西宮市馬場町3-20-2F(最寄り駅:阪神西宮)			
※開催日:毎月第3木曜日 時間:18:30~21:00(8月は日程変更の可能性有)			
※連絡先:代表 木之下 尚令 info@ut-mana.jp			

※各スケジュールは変更になることがあります。

入退会者のお知らせ(順不同・敬称略) 令和元年9月1日より11月30日までの入会者・退会者は以下の通りです。

《入会者(転入を含む)》 武市俊彦、松井裕志

《退会者(転出含む)》 阿部馨、千田徹夫、山根知典

編集後記

昨年の秋、自宅の小さな庭に生えたザクロがたくさんの実をつけました。5年ほど前、鳥が種を運んできたようで、最初は何かの「草」だと思っていたものがすくすくと育ち、ついに実をつけて初めてザクロであると知りました。改めてここまでのザクロの生き方を見るにつけ、したたかであつまい自然の力に感心するとともに、自分もそうあらねば、などと思う一年の計なのでした。(玉)